

小学児童がコンクリート杭に夢や目標や工事関係者への感謝の寄せ書き  
(令和 5 年 1 月 13 日)

山形県鶴岡市立朝陽第五小学校の改築工事で使われたコンクリート杭に、4～6 年生の児童が寄せ書きをしました。齋藤校長先生の提案に、建設工事を請け負っている「佐藤工務・佐藤組・山口工務店 JV」様が快諾され、今回のイベントとなりました。児童達は、自分達の新しい校舎が建設される基礎工事に使われる既製コンクリート杭に、各自思い思いの寄せ書きをしました。基礎工事は当社前田製管が請け負いました。当社が製造し地中に沈められる白い既製コンクリート杭をキャンパスにして、マジックインキで児童達のメッセージを書き込みました。校長先生、教頭先生も寄せ書きにご協力頂きました。次の時代の校舎建て替えの時のこのコンクリート杭の寄せ書きを見る機会があるかどうか分かりませんが、児童達はきっと、すっかりお爺さんとお婆さんになっているでしょう。

普段は子供が入れない工事現場に、子供達の明るい声が響く和やかな雰囲気になり、児童達も楽しい 1 日となりました。いつも余り注目されないコンクリート製品ですが、このように注目して頂くと、応援して頂いたようで本当に嬉しくなります。有難うございました。

このイベントは、地元の新聞である荘内日報の 1 月 15 日の 1 面で紹介されました。その記事と、当日の何枚かの写真も紹介いたします。



# “巨大なタイムカプセル” 児童の思い出込めて

## 改築工事使用コンクリ杭にメッセージ 朝五小4―6年生半世紀後再び会う日まで

改築工事が進められている鶴岡市立朝陽第五小学校(齋藤慎行校長、児童364人)で13日、4―6年生が工事で使用するコンクリート杭に夢や目標、工事業者への感謝のメッセージなどを書き込んだ。杭は50―60年後に再び同校が改築される際、土中から引き出される可能性があり、巨大なタイムカプセルとして児童たちの思い出に残る。

同校の改築工事および第五学区放課後児童クラブ(学童保育所)の新築工事は2022年10月に着工。24年の夏前の完成が見込まれている。新校舎完成前に卒業

する5、6年生と新校舎で最初の卒業生となる4年生から、朝五小で学び生活した思い出や感謝を残してもらおうと、齋藤校長がコンクリート杭へのメッセージ書き

を提案したところ業者側も快諾した。

この日、4―6年生がクラスごとに長さ13メートルと8メートルのコンクリート杭2本へメッセージを書いた。自分の名前や日付、目標や夢、イラストなどのほか、工事業者へ「お仕事ががんばってください」「りっぱな校舎が建ち

建物の基礎部分を支えるコンクリート杭に、子どもたちがメッセージを書き込んだ(上)「お仕事ががんばってください」と、工事業者への感謝の言葉も書かれた

ますように」といった感謝の言葉がつづられた。4年生の林湊君(10)は「何十年後になるかわからないけど、土の中から杭が出てきたら見てみたい」と話した。建設工事を担当している佐藤工務・佐藤組・山口工務店JV(特定建設工事共同企業体)の現場代理人の上野将光さんは「長く鶴岡市内の工事現場に携わっているが、こうした取り組みは初めて見る。業者への感謝の言葉もあり思わず笑顔になる。みんなモチベーションが高まっている」と話していた。コンクリート杭は建物の沈下を防ぐため、基礎部分を支える重要な工材として土中に埋められる。齋藤校長は「子どもたちが年を取った後、土中から出てきた杭を見て朝五小で過ごした思い出を振り返ってもらえれば」と話していた。



1月15日(日)

発行所

庄内日報社

本社/〒997-0035 鶴岡市馬場町8-29  
電話0235(22)1480(代表)  
酒田支社/〒998-0045 酒田市二番町6-2  
電話0234(22)4244(代表)  
©庄内日報社 2023

本社代表

TEL(0235) 22-1480

購読のお申し込み

TEL(0235) 22-1481

広告のお申し込み

TEL(0235) 22-1479

FAX(0235) 22-2633

印刷のお申し込み

TEL(0235) 22-1724

編集のお問い合わせ

TEL(0235) 22-1482

FAX(0235) 22-1427

ホームページ

http://www.shonai-nippo.co.jp/

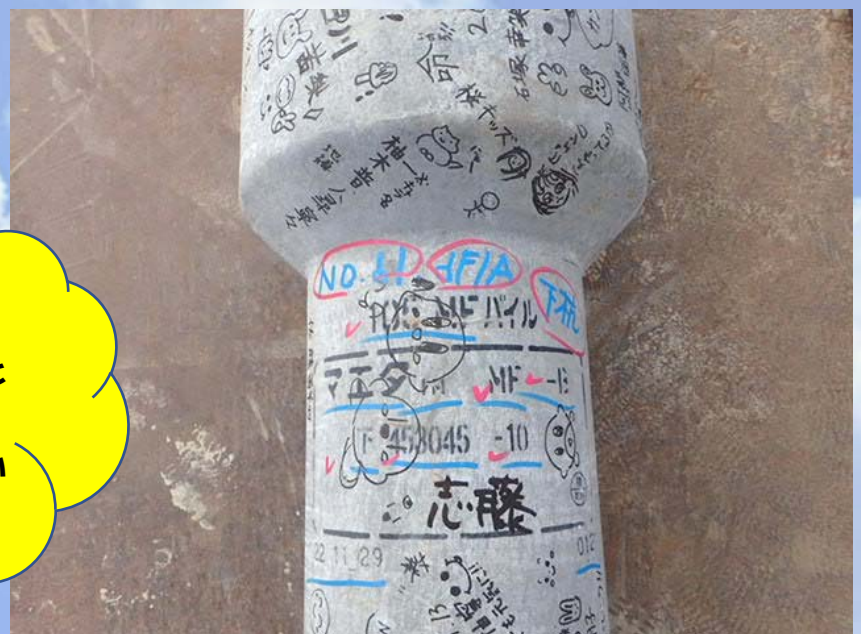


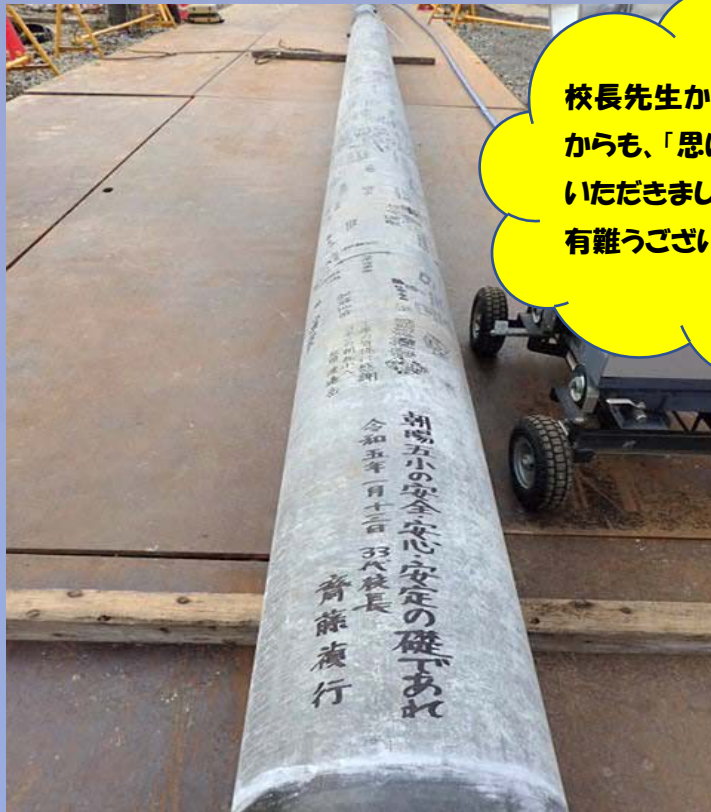
児童の皆さんが  
一生懸命に寄せ書き  
をしています。



た

たくさんの寄せ書きの中に、  
「マエタ」のマークがきらいと  
光って見えます。  
このパイルは、頭が大きい  
ST パイルという名前です。





校長先生からも、教頭先生  
からも、「思い」を書き入れて  
いただきました。  
有難うございます。



寄せ書きパイルは、このよ  
うに地面に埋められて、  
これからずっと、しっかりと  
校舎を支えるのです。



試験杭の時の写真です。  
多くの関係者の見守る  
中、安全に、確実に施工  
されました。



当社社員と、協力会社の  
社員の方々です。  
寒い季節の工事でした  
が、本当にご苦勞様でし  
た。

